

宇都宮市立図書館にある  
本多正純に関する本

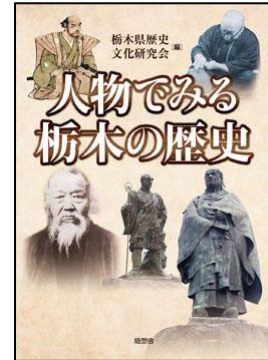
◆ 歴史

『人物でみる栃木の歴史』

(栃木県歴史文化研究会／編 随想舎 2011)【K200】

P227～244「江戸初期の幕政を担った実力者 本多正純」

日本史上著名な人物で、栃木県の歴史に深く関わった人物18人のひとりとして、本多正純をとりあげている。正純の生涯を分かりやすくまとめ、「宇都宮釣天井事件」を生むこととなった、突然の改易について考察している。



『栃木県歴史人物事典』(栃木県歴史人物事典編纂委員会／編 下野新聞社 1995)【K280】

あらゆる分野で活躍した栃木県ゆかりの人物を紹介している。本多正純についてはP548～549でその人物の概要が記載されている。

『宇都宮市史 近世通史編 6』(宇都宮市史編さん委員会／編 1982)【K210】

P19～29「本多上野介正純」・P122～134「藩主本多正純と城下町」

宇都宮市の歴史を調べるための基本資料。本多正純が宇都宮城主となる経緯や改易に至るまでを述べるとともに、近世宇都宮の城下町としての基礎をつくったことが分かる。なお、「史料編」も参照すると、より調査に役立てることができる。

『栃木県史研究 8』(栃木県史編さん専門委員会／編 1974)【K205】

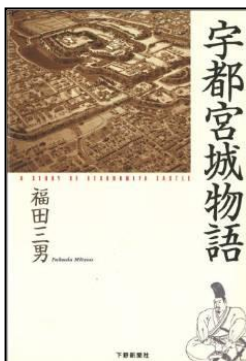
P28～38「本多正純の改易をめぐって」

栃木県史編さんの中で、高木昭作調査員が上記のテーマでまとめた論文。さまざまな史料を読み解きながら、正純の改易の背景を細かく論考している。また、この内容は『栃木県史』にも反映されている。

『宇都宮藩・高德藩』(坂本俊夫／著 現代書館 2011)【K210 サ】

宇都宮市出身の著者が、近世宇都宮の歴史について、詳細な研究をもとに読みやすい文章でまとめている。

◆ 宇都宮城



『宇都宮城物語』(福田三男／著 下野新聞社 2007)【K210 フ】

下野新聞に連載された「亀が丘城物語」をまとめたもの。中世の築城以前から、幕末の戊辰戦争で焼失したのちの様子までを記述しており、代々の城主のほか、ゆかりの人々、当時の社会の動きなど、宇都宮城に関わるさまざまな視点から、宇都宮の歴史を紹介している。

『宇都宮城のあゆみ』（宇都宮市教育委員会／編 2007）【K210 ウ】

宇都宮城址公園の開園にあたり、「広報うつのみや」に連載された「宇都宮城の歴史」を編集したもの。先行研究をもとにしながら、発掘調査の様子や、現代も名残を残す場所の写真なども掲載している。

『宇都宮城跡（平成 18 年度第 4 次調査）』（宇都宮市教育委員会／編 2008）【K202.1 ニ】

宇都宮城跡のうち、宇都宮市旭 1 丁目の西館堀地区における発掘調査報告書。

『名城 宇都宮城—しろとまちの移り変わり—』（栃木県立博物館／編 2006）【K520】

タイトルの企画展の図録。宇都宮城の絵図面、古文書、発掘調査で出土した遺物等、網羅的に史資料が集められている。宇都宮城をめぐる歴史や文化、人々の暮らしにも触れている。

『宇都宮城絵図面』（徳田浩淳／著 文化新報社）【K210 ト】《持出禁止》

『宇都宮御城内外絵図 宇都宮城本丸将軍家御泊城ノ節建物ノ絵図』（宇都宮市教育委員会／編 1998）【K291 ウ】《持出禁止》

◆ 小説

『宇都宮釣天井』（青木春三／著 鱒書房 1955）【K930】《持出禁止》

講談師が書いた読み物、それを「現代版」に表現した実録本。

『陰謀の城—真説宇都宮釣天井—』（島遼伍／著 下野新聞社 1993）【K210】

徳川家のために自分のすべてを捧げた悲劇的人物として本多正純を描いている。

『宇都宮釣り天井事件異聞 本多正純の悲劇』（和氣良雄／著 随想舎 2007）【K930】

「宇都宮釣天井事件」伝説が世に広まった背景に、焼けた城下町の復興に尽力した商人がいたという物語。

『新・宇都宮釣天井』（徳田浩淳／著 下野歴史学会 1978）【K204】

郷土史家である著者が、史料によって「宇都宮釣天井事件」の史実を追究して書かれている。



この他にも資料がありますので、図書館職員にお気軽にご相談ください。

---

宇都宮市立中央図書館

〒320-0845

宇都宮市明保野町 7 番 57 号

TEL : 028-636-0231 FAX : 028-639-0740

9:30~19:00（金曜休館）

---